

大型設備投資が完了

第一貨物、東京支店が完成

第一貨物（山形市、米田
総一郎社長）は2日、移転

新築を進めていた東京支店
が竣工したと発表した。

昨年秋に移働した新・山形
支店（同市黄金）を含め、

総額280億円規模の大型

設備投資プロジェクトが完
了した。

江東区にある現東京支店
は建築から52年が経過し、
老朽化対策などが課題とな
っていた。同じ江東区内に
大和ハウス工業が開発した
マルチテナント型物流施設
「DPL江東深川」を区分
所有し、移転先とした。一
部鉄骨造り7階建ての建物
2階部分に入る。延べ床面
積約13万平方メートル。現東京支
店の土地と建物は大和ハウ
ス工業に売却する予定。

第一貨物の同プロジェクト
は2017年にスタート
し、首都圏における整備工
場の移転新築をはじめ、社
宅の整備事業も実施した。



移転先となる第一貨物の
東京支店―東京・江東区

（同社提供）

（稲村裕介）